

# 北陸信越5県の地銀・第二地銀の中小企業等貸出比率も減少 国民の仕事と所得を増やす、本格的な対策が必要

やはり地方銀行でも中小企業向けの貸し出しは増えるどころか、減っていました。日本共産党中央委員会の政策委員を務めている藤野やすみさんが調査したところによると、北陸信越5県の地方銀行の

中小企業等貸出比率は、昨年3月末と今年3月末で比較した場合、いずれの銀行も貸出比率が低下していました。地域経済の現場では中小企業にカネが回るどころか、「金融引き締め」が起きています。

藤野さんは、三菱UFJ、みずほ、三井住友ファイナンシャル・グループの国内貸し出しに占める中小企業向け貸出比率が、今年3月期決算では60・4%で、これまで最低だったリーマン・ショック直後の3月期の60・8%を下回っていることを重視し、北陸5県の状況についても調査したものです。

日本共産党は4月24日、「『アベノミクス』の危険な暴走を許さず、消費税増税を中止し、国民の仕事と所得を増やす、本格的な景気回復を」という提案を発表しています。賃上げと安定した雇用の拡大で、働く人の所得を増やす、財源は消費税に頼らない「別の道」で確保する、現役世代も高齢者も安心できる社会保障にする、内需主導の健全な成長をもたらす産業政策をとる、といった政策への転換が必要ですね。日本共産党の提案の全文を読みたい方は日本共産党のホームページをご覧ください。ただ、私まで連絡をくださいますようお願いいたします。

(注) 中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等をいいます。

## 老朽危険空き家対策で議論

総務常任委員会が20日開催されました。この日は、事前に現地調査を行った

うえで約1時間議論しました。委員会では、「危険状態になるまでに把握しておく必要がある。危険度調査はどのようにしているのか」「87の老朽危険家屋のうち、市税の滞納がある件数はどれくらいか」「老朽危険家屋の管理者に通知を出しているというが、どんな中身か、また、通知後の次の一手としてどんなことを考えているのか」などの質問や意見が出ました。市の答弁でわかったことですが、所有者が判明している81家屋のうち、連絡しても返事がないケースは43にも上っているとのことでした。深刻ですね。委員会では今後も引き続き、この問題の解決策を求めて調査していくことにしています。



【マルバアオダモ】モクセイ科の落葉高木。高い木になると10メートルを超える。花は5月。白く細い花は目立ちます。写真は吉川区下中条の池の近くにて20日撮影。

|    |        | 2013年3月末中小企業等貸出残高 | 2013年3月末中小企業等貸出比率 | 2012年3月末中小企業等貸出残高 | 2012年3月末中小企業等貸出比率 |
|----|--------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 長野 | 八十二銀行  | 24,032            | 55.2%             | 23,565            | 55.7%             |
|    | 長野銀行   | 5,842             | 74.8%             | 5,605             | 79.1%             |
| 新潟 | 第四銀行   | 26,811            | 55.4%             | 25,571            | 56.4%             |
|    | 北越銀行   | 8,569             | 61.8%             | 8,714             | 65.4%             |
|    | 大光銀行   | 8,897             | 76.9%             | 8,780             | 80.9%             |
| 富山 | 北陸銀行   | 27,976            | 64.6%             | 28,266            | 66.8%             |
|    | 富山銀行   | 1,953             | 69.2%             | 1,978             | 71.5%             |
|    | 富山第一銀行 | 7,411             | 64.5%             | 7,411             | 65.2%             |
| 石川 | 北國銀行   | 13,739            | 58.9%             | 13,537            | 59.5%             |
| 福井 | 福井銀行   | 7,997             | 55.8%             | 8,321             | 57.9%             |
|    | 福邦銀行   | 2,550             | 80.8%             | 2,514             | 82.0%             |

|        | 把握している危険空き家数 | 周囲に危険与える可能性のある空き家数 |
|--------|--------------|--------------------|
| 合併前上越市 | 33           | 9                  |
| 安塚区    | 3            | 0                  |
| 浦川原区   | 12           | 1                  |
| 大島区    | 4            | 0                  |
| 牧区     | 2            | 0                  |
| 柿崎区    | 3            | 0                  |
| 大潟区    | 0            | 0                  |
| 頸城区    | 3            | 1                  |
| 吉川区    | 2            | 0                  |
| 中郷区    | 12           | 1                  |
| 板倉区    | 3            | 0                  |
| 清里区    | 5            | 0                  |
| 三和区    | 5            | 0                  |
| 名立区    | 0            | 0                  |
| 総計     | 87           | 12                 |

何度も笑いました。何度も涙を流しました。甥の結婚式でのことです。五月晴れの土曜日、六年間の付き合いの中で愛を育んできた甥とR子さんは、家族や親戚、職場の友人、同級生などから祝福を受け、結婚式をあげました。

結婚式場は長野県北部にあるワイナリー（ワイン醸造所）。わが家の近くから観光バスに乗って約二時間かかりました。バスの中は若い人たちが大勢で、賑やかでしたね。「殺し屋」というあだ名の同級生がいたとか、どこどこにエロ本があったといった話がポンポンと飛び出します。「新郎の橋爪の父親の橋爪です」という弟の挨拶に、甥の同級生などは「面白い」と声をあげました。まるでバス遠足のようでした。

ワイナリーに着いてから案内されたのは芝生の広場です。大きなトチの木が一本ありました。ケヤキがひと固まりになって大きく伸びているところが二か所ありました。遠くには妙高山が見えます。ここが結婚式場でした。

結婚式は大きなケヤキの木の下で行われました。神父さんが進行役です。ユーモアたっぷりでした。新郎新婦の両親への問いかけに続いて他の参列者にも「お二人の結婚を心から祝福なさいませう」と訊きました。ほとんどの人が静かに「はい」と言うのと、「ちよつと弱いですね。外ですからね。もつと山まで響くように大きな声で」と催促されました。今度は全員、大きな声で、「はい」とやりました。みんなは遠慮することなく笑いました。会場の硬い雰囲気はこれですっかりなくなりました。

新郎新婦の誓いの言葉の後、神父さんは聖書に書かれている、「一生の間にあなたの妻と生活を樂しむがよい」「あなたは若い頃の妻と喜び、悲しむ」という格言を引用しながら夫婦生活のあるべき姿を語りました。そして新郎新婦に三つの言葉を贈ります。「ありがとう」「ごめんなさい」「いいでしょう」、この三つの言葉を必要に応じて使えばあなたたち二人は一生幸せです。神父さんがこう話をされている時、偶然なのでしようが、ケヤキの木の上から小鳥たちの鳴き声が聞こえてきました。

さて、結婚を祝うパーティはぶどう畑のそばのレストランで行われました。ここでも様々な工夫がありました。新郎の友人のなかには映像作成が得意の同級生がいたようで、「結婚式場に向かうバスに乗り遅れた男性が、高速を走り、大急ぎで会場に飛び込んでくる」映像をスクリーンで映し出し、どんぴしゃりのタイミングで実際にその彼と仲間が舞台上で登場して歌を歌い始めたのにはびっくりしました。なかなかやりますね。新郎新婦の歩みを紹介するために、また、参加者への感謝のメッセージを伝えるためにスライドが上映されました。これもよかったです。

パーティではレストランのスタッフの人たちが一緒に楽しむ場面もありました。ケーキを運んでくる場面です。ラテン系の素敵な音楽が流れるなか、黒人女性がケーキを頭にのせて会場に入り、みんなと踊る。新郎も腰を揺らして踊り出しました。スタッフが結婚パーティを楽しむのを見たのは初めてでしたが、結婚を祝うって、本来、こういうことなんではないかと思いました。

不覚にも涙を流したのは新郎の上司の方から、「お父さんのことではお世話になりました」と言われたときでした。何と、父が介護でお世話になった人だったので。新郎の友人の「ユウダイ君はガニマタ」という言葉を聞いた時は祖父や父の姿を思い浮かべました。「私が自由に生きてこられたのも二人が私を守ってくれたから」と新婦が両親に伝えた感謝の言葉でも涙が流れました。お二人さん、がんばれよ。

## 総務常任委員会が老朽危険空き家調査

総務常任委員会の管内視察調査が20日、行われました。調査はこのところマスコミなどでも取り上げられている老朽危険空き家の現状把握が目的です。市が危険空き家として把握

している87の家屋のうち11の家屋を調査してきました。

調査に入ってまず驚いたのは、町場の中にこういう家屋、建物がいくつもあることでした。高田の市街地や黒井駅周辺にまであるとはびっくりでした。

調査した建物の中には、屋根に穴があいていて崩れ始めているもの、道路に倒れる心配があるので、つかい棒を

してあるもの、屋根のトタンなどが強風で飛ぶ可能性があるものでネットをかぶせてあるものなどがありました。これらを見て、近所の人たちは迷惑しているし、通行人にも危険が及ぶこともあるだろうと判断してきました。

黒井駅の近くでは、老朽家屋が連なっていて、そこに危険家屋がありました。たまたま出会った高齢者の方から、「たぬきの住処になっている。あそこは亡くなって誰もいない。そのそばの家は施設に入っておられ、ここもまた管理する人がいないのです」と言われて、老朽危険空き家問題は今後、大きく広がっていくという予感がしました。高齢化が進み、他人事ではないのです。どこでもこういうことが起こりうると思います。写真は個人情報保護の問題もあり、危険空き家を紹介できませんが、ご理解ください。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果（測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常の範囲は1時間当たり0.016~0.16μSv（マイクロシーベルト）だということです。

|        | 5月15日(水) | 5月22日(水) |
|--------|----------|----------|
| 上越南消防署 | 0.030    | 0.033    |
| 上越北消防署 | 0.050    | 0.047    |
| 新井消防署  | 0.043    | 0.043    |
| 頸北消防署  | 0.050    | 0.043    |
| 頸南消防署  | 0.040    | 0.047    |
| 東頸消防署  | 0.047    | 0.040    |
| 高土分遣所  | 0.050    | 0.050    |
| 名立分遣所  | 0.057    | 0.057    |

